

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	1年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	人体の構造と機能Ⅳ			担当教員	山田 英史		
授業の方法	講 義			単位数	2単位		
学修内容	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師として、患者の診察及び治療にあたって、必要な人間の身体の構造及び機能について学ぶ。						
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 1. 人体の正常な機能と構造について理解する。						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章 人体の構成 B. 体液の恒常性 1. 体液の性質		1	第3章 神経系 B. 中枢神経 1. 中枢神経系の構造 2. 中枢神経系の統合機能 3. 大脳 4. 間脳		
	2	第6章 血液と免疫 A. 血液 1. 血液とその成分 2. 赤血球 3. 白血球		2	第3章 神経系 B. 中枢神経 5. 脳幹 6. 小脳		
	3	第6章 血液と免疫 A. 血液 1. 血液とその成分 4. 血小板と止血機構 5. 血液型		3	第3章 神経系 B. 中枢神経 7. 脳波と睡眠 8. 脊髄 9. 中枢神経系の保護と栄養		
	4	第6章 血液と免疫 B. 生体防御機構 1. 生体防御機構とは 2. 免疫に働く白血球		4	第3章 神経系 C. 伝導路と運動調節		
	5	第6章 血液と免疫 B. 生体防御機構 3. 免疫に働く液性因子 様々な免疫応答		5	第3章 神経系 D. 末梢神経 1. 脳神経 2. 脊髄神経		
	6	第5章 循環系 A. 循環系 1. 心臓血管系 2. 動脈と静脈 毛細血管		6	第3章 神経系 D. 末梢神経 3. 自律神経		
	7	第5章 循環系 B. 心臓 1. 心臓の構造 2. 心筋の基本的性質 3. 刺激伝導系 4. 心臓の活動と検査		7	中間試験 第3章の予備時間		
	8	中間試験 第5章 B. 心臓の活動と検査		8	第8章 消化器系と代謝・栄養 A. 消化と吸収 1. 消化器系とは 2. 口腔・咽頭・食道の構造と機能		
	9	第5章 循環系 C. 血管系 1. 動脈・静脈・毛細血管 2. 肺循環 3. 体循環 5. 各部の循環 6. 胎児循環		9	第9章 消化器系と代謝・栄養 A. 消化と吸収 3. 胃の構造と機能 4. 小腸の構造と機能 5. 大腸の運動と機能		
	10	第5章 循環系 D. 血管とその意調節 E. リンパ系		10	第8章消化器系と代謝・栄養 A. 消化と吸収6. 膵臓の構造と機能 7. 肝臓と胆嚢の構造と機能 8. 腹膜と腹膜腔		
	11	第7章 呼吸器系 A. 呼吸器の構造と機能		11	第8章 消化器系と代謝・栄養 9. 食欲 B. 代謝と栄養 第10章 内分泌系と体温 A. 内分泌系の総論		
	12	第7章 呼吸器系 B. 呼吸とその調節 1. 呼吸筋と呼吸運動 呼吸機能の側定		12	第10章 内分泌系と体温 B. 内分泌系の各論 1. 視床下部と下垂体		
	13	第7章 呼吸器系 3. ガス交換 4. 酸素・二酸化炭素の運搬		13	第10章 内分泌系と体温 B. 内分泌系の各論 2. 甲状腺と副甲状腺 3. ランゲルハンス島(膵島)		
	14	第7章 呼吸器系 呼吸の調節 第3章 神経系 A. 神経系と神経組織 1. 神経系の分類 2. 神経組織		14	第10章 内分泌系と体温 B. 内分泌系の各論 4. 副腎		
15	第3章 神経系 A. 神経系と神経組織 3. 神経細胞の興奮と伝導 4. シナプスの伝導		15	第10章 内分泌系と体温 B. 内分泌系の各論 5. その他のホルモン 6. ホルモンによる体液調節			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	中間試験(50%)、期末試験(50%)にて評価します。			実務経歴	臨床経験19年 開業歴10年		
履修上の注意	解剖学で構造を覚え、生理学で機能を覚えるので解剖生理の教科書および授業プリントを持参し受講すること。また、講義前までにプリントの穴埋めを終わらせる。			授業時間外の学習	授業前に、解剖学授業の内容を復習すること。講義までに配布プリントの穴埋めを行う。		
使用教材	主に配布プリントを使用。東洋療法学校協会 編「解剖生理学」(参考)東洋療法学校協会 編「解剖学」「生理学」をもとに授業プリントは作成。			連絡先	質問または相談があるときは職員室を訪ねてください。(火・金曜日のみ)		